

# 私学協会長賞

## 「大切な資源」

西遠女子学園中学校

二年 中根 さん

蛇口を捻れば水が出る。ちゃんと綺麗な水が。そんな当たり前だと思っていた日常が当たり前ではない国がある事を知ったのは、何年前に行った海外旅行です。ガイドさんに

「蛇口から出る水は、口に入れない方がいいです。ミネラルウォーターをお部屋に置いておくのでそれを飲んでください。歯磨きもペットボトルのミネラルウォーターで。」と言われました。当時まだ小さかった私は特に気にすることなく言われるがままミネラルウォーターを飲んでいました。今考えてみれば、現地に住んでいる方々は、そのまま蛇口からの水を飲んでいたのでしょいか。：そんな経験を、改めて日本の水はとても綺麗で、しっかりと管理されているんだなと思いました。

そして、その管理された日本の水道水はいったいどのように私達の元へ到達しているのだろうか？と疑問に思い、調べ進めてみたところ水源（ダムや河川など）から取水場、浄水場、配水場から配水管（家庭など）へ来る事がわかりました。

そしてもう一つわかった事があります。日本は海に囲まれているし、水源には困ることはないだろうと勝手に考えていましたが、そこには「日本でも水不足」といった情報が上がっていたのです。原因は人口増加や産業発展による

水の使用量増加、地球温暖化によるものでした。

また、水不足は色んな国の色んな地域にあることも分かりました。蛇口を捻れば水が出る。そんな当たり前だと思っていたことを、その時、一瞬で覆されてしまいました。でも地球は陸地よりも海の面積の方がとても広いはずなのに、なぜ水不足になってしまうのだろうかとも思いました。

調べてみると、海水は飲料水にはならず、飲料水として使用できる水は地球上の水の約14億リットルキロメートルのうち、約0.01パーセントしかないことがわかりました。こんなに沢山ある水を使うことができないなんて：と衝撃をうけました。それと同時に今現在、私が何も気にすることなく水を使っていることにとっても感謝をしました。

世界中でどれだけの子供がお水を飲めないのか、今まではどれほどのお水を無駄にしてしまったのか、そんなことを考えました。母は、

「無駄にしてみましたのならば、これからどうしていけばいいのか、そこを考えてみたらいいんじゃない？」

と提案してくれました。そこで私は母と一緒に生活の中で身近にある水を無駄にしない取り組みを始めてみることにしました。例えばですが、洗濯の時に、お風呂の残り湯を使う、シャワーを使う時には流しっぱなしにするのではなく、そのつど止める、シャワーを節水機能のあるものに変

える、食器を洗う時は大きめのボウルにお湯をためて、その中に他の食器を入れておく、汚水を少なくする。などです。小さな事ですが始めてみると忘れてしまうことも多々あり、すっかり意識していく事が大切なんだと思いました。私の祖母は洗濯の際、始めは井戸水を使い、最後に水道水で洗うということは何十年も続けているそうです。祖母の話聞いた時は「なんでそんなことをしているんだろう？」と思いました。今となれば水の節約や、水道代の節約にもなるので、とても良いことだと思いました。

今回この水の作文を書く事で、今見えにくい現実を知ることができました。日本で起きている水不足の問題や、世界各国での水問題など、近い将来に必ず解決が必要となる事柄を今私達が出来る小さな努力が今後の世界の水問題を解決する糸口になると思います。地下水の運用や海水から淡水への濾過式設備など、大々的に新しい取り組みを取り入れる事で今とは違う生活様式になれば今ある大切な資源を守る事ができるかもしれません。

SDGs 9番目にもあげられた目標の「安全な水、トイレ」にも有るように、全ての人が安全に水を使える世界になる事を願います。